令和６年度東松島市総合防災訓練実施結果について

１　訓練目的

　　悪条件下で最大クラスの津波（L２）発生による大規模災害を想定し、「自分の命を守る最善の行動をとる」をスローガンとし、市民と防災関係者が一体となって避難行動を実施することにより、防災体制の確立と防災意識のより一層の向上を図る。

２　実施日等

　（１）日　　時　令和６年６月１６日(日)午前９時～午前１１時

（装備品展示は正午まで）

　（２）参加者数　９，５２７人（前年度比　＋４９８人）

　（３）主　　催　東松島市、東松島市自主防災組織連絡協議会

　（４）参加機関　東松島市消防団　他７団体

　（５）協力機関　国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所　他２１団体

３　被害想定

　　宮城県沖を震源とするマグニチュード８．０と推定される地震が発生し、東松島市では震度６強を観測、その後、東北太平洋沿岸に「大津波警報」が発表された想定

４　訓練内容

　⑴　市訓練項目

①職員参集訓練、②災害対策本部設置・運営訓練、③災対各部運用訓練、④非常時優先業務（BCP）移行訓練、⑤避難所開設訓練、⑥防災行政無線運用訓練、⑦小中学生を対象としたアンケート調査

　⑵　東松島市消防団

①災対本部活動、②避難誘導・広報訓練、③市内４カ所の水門閉鎖確認訓練、④地区別計画訓練の支援等

　⑶　自主防災組織及び市民

①地震対処（シェイクアウト）訓練、②避難訓練（徒歩又は自動車）、③災害時初動訓練(避難誘導、広報、安否確認)、④災害応急対策訓練（初期消火訓練、救命救急訓練、マンホールトイレ設置訓練、段ボールベッド設置訓練、防災備蓄品確認、防災資機材操作訓練、炊き出し訓練、防災教育等）

　⑷　協力機関

①航空自衛隊松島救難隊によるヘリコプターを使用した要救助者の吊り上げ救助訓練、②国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所、宮城県東部土木事務所による水門の開閉訓練、③陸上自衛隊、航空自衛隊、宮城県石巻警察署、石巻地区広域行政事務組合消防本部、東松島消防署が保有する装備品等の展示、④トヨタ自動車、日産自動車、三菱自動車による給電可能車及び給電装置等の展示

５　訓練実施結果（抜粋）

　⑴　災害対策本部運営訓練

　　・　大津波警報発表に応じ、避難指示発令、防災行政無線及びメール等による避難の広報を実施

　　・　各種被災状況に応じて、災対各部が対処訓練を実施

　⑵　自動車避難訓練

　　　大曲地域及び赤井地域等の住民が自動車避難訓練に参加し、鷹来の森運動公園及びＪＡいしのまき東松島カントリーエレベーター駐車場に避難（参加台数　６７台）

　⑶　地区別計画の応急対策訓練

　　　各地区の自主防災組織がそれぞれ工夫して災害応急対策訓練を実施（マンホールトイレ、段ボールベッド、初期消火、ＡＥＤ、担架作成・搬送、浄水器、炊き出し、防災教育等）

　⑷　小中学生へのアンケート調査

　　　小中学生の保護者を対象とした、防災訓練参加状況などのアンケート調査の結果は以下の通り。（回答数１，４９５　全対象者数の５１％）

・　家族で防災訓練に参加した割合　　　　　　　　　　　　　３１％

・　災害時の連絡方法・集合場所を決めている家庭の割合　　　８６％

・　家庭内で避難場所や避難経路について確認している割合　　８７％

・　家具の転倒防止を行っている割合　　　　　　　　　　　　７６％

・　家庭内の備蓄品等の置き場所や中身を教えている割合　　　４５％

・　装備品等を見学した割合　　　　　　　　　　　　　　　　　８％